

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 2 部門第 1 区分
【発行日】令和 6 年 7 月 11 日(2024.7.11)

【公開番号】特開 2024-7765(P2024-7765A)
【公開日】令和 6 年 1 月 19 日(2024.1.19)
【年通号数】公開公報(特許)2024-011
【出願番号】特願 2022-109070(P2022-109070)
【国際特許分類】

B 0 1 D 53/32(2006.01)

10

【F I】

B 0 1 D 53/32

【手続補正書】
【提出日】令和 6 年 7 月 3 日(2024.7.3)
【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

電気化学反応によって混合ガスから回収対象ガスを回収するガス回収システムであって

、
前記回収対象ガスを吸着する作用極(104)と、前記作用極と電子の授受を行う対極(106)と、前記作用極と前記対極の間に配置され、前記作用極と前記対極の物理的接触を防いで電氣的短絡を抑制するセパレータ(107)と、前記作用極に当接して前記作用極と前記対極とを電氣的に接続する作用極集電材(103)と、前記対極に当接して前記作用極と前記対極とを電氣的に接続する対極集電材(105)と、を積層配置して構成された電気化学セル(101)と、

30

前記電気化学セルに対して前記対極及び前記対極集電材を覆うように配置され、前記混合ガスと前記対極との接触を抑制する対極包囲部材(110)と、を備え、

前記対極包囲部材(110)は、前記混合ガスに対する不透過性を有する材料で形成されたフィルム部材(111、112、113)により構成されており、

前記セパレータの外縁には、前記セパレータを貫通する複数の穴部(107a)が形成されており、

前記フィルム部材は、前記対極及び前記対極集電材を覆うように配置され、少なくとも前記セパレータの外縁を含む状態で、前記複数の穴部の内部にて接合されているガス回収システム。

40

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0009
【補正方法】変更
【補正の内容】

【0009】

電気化学セルは、作用極(104)と、対極(106)と、セパレータ(107)と、作用極集電材(103)と、対極集電材(105)と、を積層配置して構成されている。作用極は回収対象ガスを吸着する。対極は作用極と電子の授受を行う。セパレータは、作用極と対極の間に配置され、作用極と対極の物理的接触を防いで電氣的短絡を抑制する。作用極集電材は、作用極に当接して作用極と対極とを電氣的に接続する。対極集電材は、

50

対極に当接して作用極と対極とを電氣的に接続する。対極包囲部材は、電気化学セルに対して対極及び対極集電材を覆うように配置され、混合ガスと対極との接触を抑制する。対極包囲部材は、混合ガスに対する不透過性を有する材料で形成されたフィルム部材により構成されている。セパレータの外縁には、セパレータを貫通する複数の穴部が形成されている。フィルム部材は、対極及び対極集電材を覆うように配置され、少なくともセパレータの外縁を含む状態で、複数の穴部の内部にて接合されている。

10

20

30

40

50